

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2019-181398  
(P2019-181398A)

(43) 公開日 令和1年10月24日(2019. 10. 24)

(51) Int. Cl. F I テーマコード (参考)  
B O 1 J 13/14 (2006.01) B O 1 J 13/14 4 G O O 5

審査請求 未請求 請求項の数 8 O L (全 12 頁)

(21) 出願番号	特願2018-78030 (P2018-78030)	(71) 出願人	598015084 学校法人福岡大学 福岡県福岡市城南区七隈8丁目19番1号
(22) 出願日	平成30年4月13日 (2018. 4. 13)	(74) 代理人	100182084 弁理士 中道 佳博
		(74) 代理人	100207136 弁理士 藤原 有希
		(72) 発明者	三島 健司 福岡県福岡市城南区七隈八丁目19番1号 学校法人福岡大学内
		(72) 発明者	徳永 真一 福岡県福岡市城南区七隈八丁目19番1号 学校法人福岡大学内
		Fターム(参考)	4G005 AA01 AB15 BA01 BB09 DB13Z DD04Z DD15Z EA01 EA02 EA03 EA08 EA09

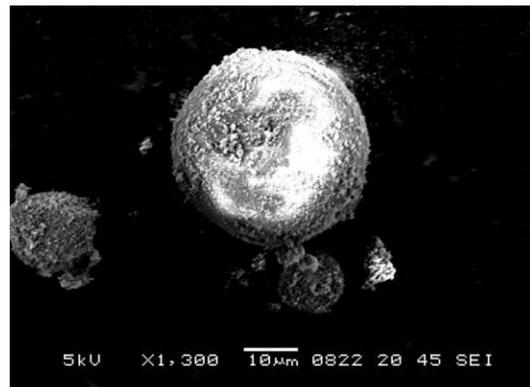
(54) 【発明の名称】 マイクロカプセル被膜、マイクロカプセル製剤およびマイクロカプセル製剤の製造方法

(57) 【要約】

【課題】 セルロースナノファイバーの用途を拡張する1つとなり得る、マイクロカプセル被膜およびマイクロカプセル製剤、ならびにそれらの製造方法を提供すること。

【解決手段】 本発明のマイクロカプセル製剤は、コア粒子と、コア粒子を包囲するマイクロカプセル被膜とを含み、マイクロカプセル被膜は、スチレン系化合物が付加されたセルロースナノファイバーを含有する。本発明のマイクロカプセル製剤は、例えば、セルロースナノファイバーにスチレン系化合物を付加してコーティング材料を得、そしてコーティング材料およびコア粒子を超臨界流体または亜臨界流体の存在下で混合しかつ減圧することにより製造され得る。

【選択図】 図4



実施例1で得られた固体粒子E1  
(シリカ-T-CNF-スチレン)のSEM画像